

免許状教科	高校地歴		
科目名	地理歴史科教育	科目分類	教職科目
			経済学科 <input checked="" type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
			学科 <input type="checkbox"/> 必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Geography and History Education	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input type="checkbox"/> 2年 <input checked="" type="checkbox"/> 3年 <input type="checkbox"/> 4年
ふりがな	かまだ ゆきお	開講期間	<input type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input checked="" type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当者名	鎌田 幸男	修得単位	4単位
授業のテーマ	地歴教育の今日的課題を考え、教材研究の意義、教育実習に役立つ学習内容と指導方法を考える。		
授業概要	本授業では、地歴の教科を担当する教員に求められる基本的な知識や資質について考える。また各科目の教育内容と教育方法、評価について解説をする。教育内容は現代社会の課題と学習との関連を取り上げる。教育方法は、学習内容の精選と指導案作り、模擬授業を行なう。そしてお互いに評価・意見を交換して授業意識の高揚を図る。		
到達目標	広い視野立って現代社会の課題を見つめることができる。また地歴の教師に求められる資質と能力とはどのようなものかを考える。		
授業時間外の学習	① 現代社会の様々な課題に関心を持つ。②新聞に掲載される教育に関する記事から、何が問題視されているのかを知る。③教育全般に関わる問題意識を持つ。		
履修条件	諸々の事象に関心を持ち、前向きな姿勢と態度で授業に参加して欲しい。		
授業計画			
第1回	オリエンテーションー授業の計画と内容、進め方。アクティブ・ラーニング、模擬授業	第17回	学習指導のあり方ー学習指導要領と教育課程について
第2回	地理歴史科の学習についてー学習指導要領の改訂と地理歴史科学習の意義	第18回	学習指導案作り①ー学習指導案の意義、教材研究の意義、評価について
第3回	地理の学習について①ー地理的な見方、考え方、地理的機能について	第19回	学習指導案作り②ー学習内容と教材の精選、学習の進め方について
第4回	現代的課題と地理学習との関連②ー地域社会の現代的課題に着目して考えをまとめる	第20回	模擬授業、地理①ー各種情報、資料の収集と活用、発表などを取り入れる
第5回	日本史の学習について①ー歴史を学ぶ意義、とくに前近代と近現代の学習の意義について	第21回	模擬授業、地理②ー地域社会の事例からアクティブ・ラーニングによる学習をする
第6回	日本史の学習について②ー地域社会の歴史や文化に関心を持ち郷土への愛着心を育てる	第22回	模擬授業を通じて相互に意見交換をする、地理学習のポイントについて
第7回	現代的課題と日本史学習との関連③ー歴史認識と科学的社会的認識を養う	第23回	模擬授業、日本史①ー教科書の図版や資料の読み取りを中心に組み立てる
第8回	世界史学習について①ー日本の歴史と世界の歴史の関連を理解する	第24回	模擬授業、日本史②ー郷土の歴史事象からアクティブ・ラーニングによる学習をする
第9回	現代的課題と世界歴史学習との関連②ー現代の諸事例から諸地域世界の交流、変容を考える	第25回	模擬授業を通じて相互に意見交換をする、歴史学習のポイントについて
第10回	アクティブ・ラーニングの学習とは①ーその「学び方」を理解する	第26回	模擬授業、世界史①ー諸地域世界の交流など地図を用いて考える
第11回	アクティブ・ラーニングの学習とは①ーその「学び方」を理解する	第27回	模擬授業、世界史②ー現代の課題からアクティブ・ラーニングによる学習をする
第12回	アクティブ・ラーニングの模擬授業③ーより深い理解ができたか、意見交換	第28回	模擬授業を通じて相互に意見交換をする、世界史学習のポイントについて

第13回	反転学習とはどのような学習形態化か理解する	第29回	地理、歴史科学習の指導と評価①—生徒の評価（思考力、判断力など4項目から）
第14回	地理歴史科の学習課題について—レポート提出	第30回	地理、歴史科学習の指導と評価②—指導者の自己評価のポイントについて
第15回	授業の振り返り—レポートを題材に意見交換、授業への意識高揚を図る	第31回	一年間の授業の振り返り—地理、歴史の教師としての力量について
第16回	前期定期試験	第32回	定期試験
テキスト	授業時にプリントを配布。		
参考文献・資料	「教育実習生のための学習指導案作成教本 社会地理公民科」（蒼丘書林、2007年）など、随時紹介。		
成績評価の方法	① 定期試験（50%）—前期（25%）、後期（25%） ②課題発表（20%）③指導案（10%）と模擬授業（20%）、①②③の総合評価とする。		
成績評価基準	<p>【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優（100～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）</p> <p>【平成28年度（2016）以降に入学した学生】 秀（100～90点）、優（89～80点）、良（79～70点）、可（69～60点）、不可（59点以下）</p> <p>※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。</p>		
オフィスアワー	① 火曜日、水曜日（14:40～16:10）②これ以外の場合は事前に連絡すること。		
学生へのメッセージ	単に教職の資格取得というばかりでなく、教職を意識して物事に前向きな姿勢と態度で授業に参加して欲しい。		